

第11回 仙台市中学校長会総会挨拶

仙台市中学校長会
会長 新山 弘幸

街並みの木々の緑も日ごとに鮮やかになり、新緑の季節の訪れが感じられる候となりました。

本日、ここに、仙台市教育局次長 佐藤 正幸 様をはじめ、関係各団体の皆様、さらには歴代会長の皆様の御臨席を賜り、第11回仙台市中学校長会総会を開催できますことに、本会を代表して心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

仙台市中学校長会は、この春、7名の会員の皆様のご勇退されましたが、この度、8名の新会員と2名の転入・再入会員を迎え、会員65名で今年度のスタートを切ることができました。ご勇退された皆様には三十有余年の長きにわたり、教育一筋に打ち込んでこられましたご功績に、改めて敬意を表します。また、新しく入会された皆様には、学校経営の最高責任者、そして最終責任者として、魅力ある特色の創出と、様々な課題解決へ先陣を切り、力を発揮されることを期待するとともに、本会に、清新の気を吹き込んでいただきたいと思っております。

未曾有の被害をもたらした、東日本大震災から6年が経過し、復興は着実に進んでおります。私たちは、震災から多くのことを学ぶとともに、復興の取り組みを通じて貴重な経験を得てきました。このことを決して忘れてはならず、後世の子どもたちにしっかりと伝えていくかなければなりません。今年度は震災当時、まだ未就学だった子どもたちが中学校に入学いたしました。当時は何が起きているのか感じることができなかつた子どもたちが、発達・成長にとともに、多様な心の健康問題を抱えるなど、新たな課題もみられるようになりました。仙台市中学校長会では震災以降「創造ある復興」を合い言葉に、数々の取り組みを行うとともに、震災の教訓や記憶の風化を防ぎ、中学生に一人一人が復興へ大きな力を発揮することを願い、実践事例集の発刊や、映像による記録「ともに 前へ！」を作成して参りました。校長会としては、今後とも、心のケアを継続し、生徒たちが希望と自信を持って、将来へ力強く歩み続けて行けるように、「復興」から「新生」への取り組みを、全力で果たしていく所存でございます。

本年度はいよいよ「第74回大都市中学校長会連絡協議会」仙台大会が開催されます。これまで準備委員会において準備を進めて参りましたが、本日、総会終了後に実行委員会を立ち上げる運びとなりました。前回の平成15年度の仙台大会開催からすでに13年が経過し、当時の大会運営を経験している校長は誰もおりませんが、準備は着実に進めなければなりません。参加の校長会が21都市となり、毎年、大都市特有の顕著化、深刻化する課題について、積極的な議論を行い解決の方向性を見だし、成果を上げているところでございます。仙台市中学校長会が心一つにし、一枚岩となり、仙台大会の成功に向けて全力で運営に当たって参る所存でありますので、ご来賓の皆様には、今後とも、ご指導を賜りますようお願いいたします。

さて、今日、我が国は、少子高齢化、グローバル化、高度情報化の進展などの社会の急激な変化の中であって、将来の予測がますます難しくなる時代になっています。

そのような中、国の教育改革の動きも加速しており、内容も多岐にわたっています。教育再

生実行会議の諸提言による、いじめ・不登校問題等への対応や教育委員会制度の改正、小中一貫教育の制度化、道徳の教科化や英語教育の充実、更には、チーム学校やアクティブ・ラーニングの推進、そして3月には次期学習指導要領が告示され、大きな転換期を迎えています。

仙台市においても、平成27年に「教育の振興に関する施策の大綱」を策定し、今年2月には仙台ならではの教育「仙台カラー」を前面に打ち出した、『第2期仙台市教育振興基本計画』が策定されました。さらには、この4月に、県費負担教職員の給与等に係る権限が仙台市へ移譲され、給与などの負担、教職員定数や学級編成基準の決定などを仙台市独自で行うことができるようになるとともに、移譲を機会に教員採用選考についても単独で実施するなど、仙台市の教育環境も大きな局面を迎えております。

予想以上の速度で進む教育改革の現状を踏まえ、校長会では、今年度、次の重要課題に取り組んで参ります。

1点目は、校長相互の連携を強化し、校長会運営を一層充実し、活動を活性化すること。

2点目は、新学習指導要領に基づき、社会に開かれた創意ある教育課程を実施するとともに「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す指導を工夫し、知・徳・体にわたる「生きる力」を育む教育をさらに創造すること。

3点目は、社会的・職業的自立を目指す「仙台自分づくり教育」の推進と、小中学びの連携や協働型学校評価を進め、「地域とともに歩む学校づくり」を一層推進すること。

4点目は、いじめ防止対策の徹底、不登校の未然防止、震災による心のケア、防災対応力の育成、さらには、コンプライアンスの徹底など、当面する教育課題の解決に努めること。

5点目は、特色ある学校づくりなど、多様な教育活動を推進するため、教育諸条件の整備・充実に期すること。

6点目は、教職員給与負担等の移譲による、勤務の諸条件の整備と待遇改善の一層の充実に図ること。であります。

全日中教育ビジョンに、『「校長はしなやかでたくましくなければならない。」とあります。校長の「しなやかさ」とは、包容力と対応力であり、校長の「たくましさ」とは、確固とした信念に基づく判断力と誰をも引き付ける表現力、誰よりも早く的確に社会情勢の変化に気付き、先を見通す力』であります。

我々、仙台市中学校長会は、教育実践のプロ集団として、時代の変化という「流行」の中で、学校教育における「不易」たる、「社会をたくましく生き抜く力」を育む教育をさらに推進していくとともに、校長一人一人が積極果敢に「学校からの教育改革」を推し進め、本市中学校教育のさらなる発展・充実に図っていく覚悟でございます。

最後になりますが、本日ご臨席を賜りました仙台市教育委員会、各関係団体、そして歴代会長の皆様には、今後とも仙台市中学校長会に対し、ご指導、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。